

今月のコラム

衝撃を受けた被災地の花の心



フラワーオークションジャパン 平田隆明

早いものでガーデンを考える会の担当をさせていただいて、三年が過ぎようとしている。業界にかかわる様々な関係者の方と出会うことができ、様々な知識をえることができあつという間の3年間というのが自分としての素直な感想です。

昨年の震災以降花業界に入って初めての厳しい経験をして、どこか他人を恨むことも多くなっていた時、ガーデンを考える会事務局グリーン情報の対談で仙台生花に山川さんとお邪魔して震災時、震災以降の状況を間近に聞いたとき目からうろこが落ちて自分が非常に小さく心の狭い人間であることをあらためて感じさせられた。花を扱う身でありながら、花の持つ本質を見失い目先の売り上げだけにとらわれていた自分がとても恥ずかしくて仕方がありませんでした。とくにガーデンガーデン田中さんのところではテナントで入っていた店舗が壊滅的な打撃を受けたにもかかわらず、震災直後から花を求めて来店されるお客さんのために商品である花を無料でプレゼントされて喜んでもらったり、今現在でできる限りの仕入れを起こされたというお話を聞いて、食べるものもままならない状況のなかで、糧とされている花の持つ力を信じてやまない姿勢に感銘と感動を受けました。

この対談が最近の自分にとってとても印象深く、ここで対談させていただいたことが自分の今の活力になっています。花の持つ力を十分に引き出してあげて、購入された消費者の方が少しでも長く管理して頂けるような環境をできるだけ作ってあげることが業界の使命だと思っています。

花業界の中だけの満足でおわらせないように今まで禁句となっていた植物の手間に関する負になることも消費者に十分伝えて、納得した上で購入して頂くような動きをガーデンを考える会を通して発信していければと思っています。完成度の高い商品ほどまめな管理を必要としています。現在のところ花に関しての消費者との乖離がかなり大きいものがあることは否定できない事実だと思います。

私も微力ながらこの業界にお世話になっている以上消費者の方へは花についての発信を常にしていくよう努めたいと思います。



カエデ
kaede

ガーデントライアル in 八ヶ岳 2012

倍増の来場と好天气に恵まれて盛況に

新商品発表の場として定着したガーデントライアルを今年は前年を14社上回る43社が出展して、9月25~27日の3日間、山梨県北杜市にあるフィオーレ小淵沢とチバナーセリー八ヶ岳農場で開催しました。

3日間とも好天に恵まれ、さわやかな秋晴れのもとで開催された今回は、出展社数が大幅に増えたことと多くの出展者がバイヤーに呼びかけたことなどにより、来場数は昨年の倍増のおよそ1500名でした。業種では、小売りバイヤーを始め流通業者、メーカー、生産者等でした。

資材関連のある出展社は、「今回初めて参加させてもらったが、多くのホームセンターバイヤーとの挨拶、新規のホームセンターとも情報交換できて非常に有意義でした」と。

今回の来場者の特徴は、今まで植物関連のバイヤーが多かったものが、資材関連のバイヤーも多く訪れ、また、大型バスでの来場もありました。

今回初めての企画「ベストブース賞」には、最優秀賞にのこぎりなど刃物を扱うユーエム工業、準優秀賞には緑のカーテンを展開した角田ナーセリーがそれぞれ受賞しました。

出展社からは「来年も頑張るぞー」という声があちこちで聞かれながら、3日間を終了しました。



ベストブース賞を受賞したユーエム工業



テントを増設したフィオーレ小淵沢会場



多くの来場者が熱心に見る展示会場



実際に植えた状態を見せた「トライアルガーデン」

好評裏に「八ヶ岳セミナー」開催

FAJ藤澤社長、JA東海グリーン前田社長が講演

ガーデントライアルIN八ヶ岳2012にあわせ、9月25日、26日開催の「八ヶ岳セミナー」。

25日のFAJ藤澤俊三社長による「花き市場が変わる、業界が変わる」、26日のJA東海グリーン 前田悟社長による「先取りした商品開発」は共に30名前後の参加者で盛況裡に終了しました。

藤澤講師は、参加者の名前を呼びながらの名調子で、講師と参加者が一体となって盛り上がりました。

前田講師は、業界の変遷、現状さらに需要はまだまだ沢山あることをわかりやすく説明したあと、ここ2年ほど前から発売し生産が追いつかないほどに好評なミラクルバイオ肥料や相次いで発売している菜園用ニーム商品、ソイルキャッチなどを説明。時間をオーバーし1つだけの質問は「どのようにしたら扱えるのか」でした。



八ヶ岳セミナー会場(前田講師)



カエデ
kaede

全国都市緑化フェアTOKYOいよいよ開幕

9月29日～10月28日、上野、井の頭、日比谷など6公園をメインに

“緑の風がふきぬける東京”をテーマに、第29回全国都市緑化フェアTOKYO～TOKYO GREEN2012～が9月29日から10月28日まで、上野恩賜公園など都内6公園を中心に開催される。主催は東京都、(財)都市緑化機構。

メイン会場は、上野恩賜公園、井の頭恩賜公園、日比谷公園、浜離宮恩賜庭園、海の森、国営昭和記念公園の6ヶ所で、このほかに毎秋開催されている「丸の内仲通りガーデニングショー」や区市町村の公園、緑化に取り組む民間施設からなる約400ヶ所の協賛会場などで構成される。

ホームページ:<http://greeneryfair-tokyo.jp/>



施設園芸・植物工場展、8割増の219社展示

来場者は18%増

施設園芸・植物工場展2012 (GPEC) が、7月25～27日の3日間、東京ビッグサイトで開催された。植物工場、施設園芸に特化した展示会としては2010年に続いて2回目。出展社は環境制御機器など施設関連とトマトなどの種苗関連が出展し前年を8割上回る219社が展示した。主催は、日本施設園芸協会。

展示のほかに生産者相談コーナーや特別講演会が連日行われた。

来場者は、農業生産者が最も多く、植物工場事業者・参入希望者、農業団体、農業資材・施設関連企業などで、今回は、前回は18%上回る18234人が登録入場した。



多段タイプの栽培装置モデル
(エスペックミック)



若い女性の来場者の姿も目立った会場

11月22日は「いい夫婦の日」

全国の花き市場で一斉にキャンペーン キャッチコピーは『ふたりの間に花が咲きます』

今年のフラワーバレンタインキャンペーンの成功を受け、全国鉢物消費拡大プロジェクト委員会(鉢物バレンタイン普及会改称、略称鉢物プロジェクト、西川勲委員長)は、日本花き卸売市場協会と連携して11月22日の『いい夫婦の日』も消費拡大キャンペーンを行うことになった。

キャッチコピーは日本農業新聞等で公募した結果、17人・団体より56の応募があり、その中から、浜松生花地方卸売市場の「ふたりの間に花が咲きます」が一席に選ばれた。

ポスターは、昨年、関西花消費拡大委員会が作成配布したデザインと決まり、のぼりも昨年と同じデザインを使う。また、鉢物商品に付けるタグを作ることになった。



大、中、小とあるタグ▶



『いい夫婦の日』キャンペーンのポスター



クラウドで業務改善

オーセブン(株) 七海 崇



重税時代が始まります。右下がり経済下で IT 化は会社経営をタフにしてくれます。オーセブンは皆様のご支援あってやってこれました。もう 1 つあるとするなら会社業務の IT 化です。できるだけ無駄な経費をかけず更なる業務改善をすることが出来ました。今日はその一端をご紹介します。

会社設立当時、ノートタイムレコーダーにし遅刻、残業などの計算が楽になりました。パソコンはいいものだと思ったものです。仕事も順調になり事務所は凶面の山です。探したのが一苦勞。そこで LAN 上のサーバーに保存し、検索一発で表示、LAN の素晴らしさに感動したものです。

社内 LAN とイントラネットが一般的になってクラウドの活用で IT 化は新しい一歩を踏み出しました。社内データベースは全員が入力することが、一番大切な条件になります。会議も変わりました。ノンペーパーです。先ずエクセルを使うことにし発表内容を表示して説明を聴くようにしました。会議の時間は半減、議事録もコピーで簡単になりました。使うソフトは統一しても、表現方法は各自勝手にしました。その方が簡単で早いからです。

色々なデータがクラウドに登録され、誰でも何時でもどこからでも見たり書いたりすることで仕事の能率が高まって来ました。経験上クラウド活用の考え方は右のようになっています。

会社の仕事は様々です。すべて IT 化するには融通無碍なデータベースを作ることが、一番だと学びました。昔は作業を標準化して帳票を整備してデータベース化しましたがそれでは時代の変化に対応できなくなり、結果的に便利さを失うことになり使われなくなり勝ちでした。(それが e-Board の根幹にあるものです。)

会社内のデータは、電話、ファックス、メール、写真、図面、書類など様々です。一つの形にして保存するのは大変です。これを形式にかかわらず一つのサーバーに投げ込めるようにすれば、データ保存は簡単になります。(どんなデータでも取り込めるようにしたのが、「にわ・なび M」でした。さらに「にわ・なび M」でどの端末でも見れるファイル形式 (HTML) にしました。)

データを何時でも何処でも誰でも見れば、社内のコミュニケーションは完全です。机上のパソコンはもちろん、スマートフォン、タブレットなどで、閲覧、書き込みができる、仕事のスピードアップが図れました。

クラウド時代、業務改善は簡単になりました。かつて生産性運動では 7 つ道具で業務の分析から始めましたがクラウドの出現で、各社個性を生かした独自の仕事の仕方ができるようになったといえます。

クラウドの活用でこれからの厳しい時代に立ち向かうことができるのではないのでしょうか。(宣伝臭のコラムで申し訳ありませんでした。弊社の「e-Board」、「にわ・なび M」、については弊社営業マンにおたずねくだされば、ご説明に上がらせてます。)

クラウド活用の考え方

- ・社員全員で作リ
- ・報連相はクラウドに書き込む
- ・書式は自由 (見て分かればいい) 画像、図面、メールの種別を問わない
- ・今日からデータを蓄積、何時からでもスタートできると考える
- ・データベースは作るというより積み上げるものとする
- ・検索でひとまとまりの形で見れるようにする

e-Board <http://reformclick.net/?blogid=30&catid=25> / にわ・なび M <http://www.o-seven.co.jp/?blogid=13&catid=126>



会員紹介

(有)緑のマーケット

緑のマーケットは創業から 35 年、様々な角度から園芸に関する商品を企画、販売してきました。

ガーデンセンターの川西本店から始まり、小売店で培った経験から、園芸メーカー業のエムソン企画、自社生産農場の猪名川農場、雑貨、玩具等の企画、制作、販売のぐっどらぼ事業部、2012 年 3 月末にオープンした大型ガーデンセンターの北神戸店など多岐に渡って展開しています。

今後も会社一丸となって、植物の楽しさ、植物がもつ限りない可能性を追求し、絶えず創造し、挑戦する会社であり続け、更なる園芸文化の発展と豊かな園芸生活の一助となるように努めてまいります。



兵庫県川西市鼓が滝 1-3-8
TEL 0727-93-2286 FAX 0727-92-2999
<http://www.midori-m.co.jp/>